

修学旅行生引揚記念館へ



偶発的発砲だった日本側は『最初の発砲は偶発的で、現地的な解決の努力がなされたと指摘する。』とし、不利な対ソ連で、

高校生シベリア抑留を学ぶ
引揚記念館に昨年引き続き、千葉県木更津市の木更津総合高校の二年生六百人が修学旅行の一環として二月十日、十

二日二班に分けて平和学習の勉強に来舞されました。語りの会メンバー延三十人が戦争の背景、抑留生活、戦争の残酷さ、悲惨さ、平和の尊さ等を説明した。

会員のの中には抑留経験者の方もおられ、生徒は熱心に聞いていた。学校に於ける事前学習がよくできていて中には祖父から聞いていたとの反応があった。

語り部ニュース

発行
NPO法人舞鶴・引揚語り会の会
住所〒625-0133
舞鶴市字平
舞鶴引揚記念館内
TEL0733-68-0568

日中歴史共同研究の報告書 1月30日公表（朝日新聞より）

公表された内、日中間で評価の割れることの多い出来事のおかげとなった盧溝橋事件と日本の傀儡国家だった満州国、南京大虐殺及び日中双方が評価する近代交流についての内容紹介（報告書は外務省ホームページで見ることが出来る）

盧溝橋事件
一九七三年七月七日夜、北京郊外の盧溝橋付近で演習中の日本軍に何者かが発砲、日本軍は中国軍の仕業として中国軍を攻撃した。事件直後は停戦を探る動きもあったが戦闘地域は拡大し日中の全面戦争に発展した。発砲したのは何者であったかは不明である。

『日本』偶発的発砲だった日本側は『最初の発砲は偶発的で、現地的な解決の努力がなされたと指摘する。』とし、不利な対ソ連で、

その直後に中国との全面戦争に突き進んだ日本軍の侵略の意図を強調した。そして『日本国内の不拡大派の声は完全にかき消された』と事件後の日本の世論の傾斜を分析。『日本軍は素早く北平（北京）、天津を占領、華北各地に戦火を拡大させた。と展開の速さを指摘し、危機感を抱いた国民党、共産党の「国共合作」にながったとした。』



日中近代史

- 1894年 日清戦争始まる
- 1895年 下関条約調印
- 1914年 第1次世界大戦始まる
- 1915年 中国に21ヶ条要求
- 1928年 張作霖爆殺事件
- 1931年 柳条湖事件から満州事変に発展
- 1932年 満州国建国宣言
- 1937年 (7月) 盧溝橋事件をきっかけに日中戦争始まる (12月) 南京大虐殺
- 1941年 太平洋戦争始まる
- 1945年 ポツダム宣言受諾

